

方剂名	効能	生薬組成
書籍	主治および証	病機 方意
<b>理気剤 降気剤 7</b>		
しょうはんげとう 小半夏湯	降逆止嘔・化痰滌飲	半夏 9g・生姜 6g 水煎し服用する。
金匱要略	<p>&lt;主治&gt; 痰飲嘔吐、 悪心、嘔吐、食欲不振、舌苔が白などを呈す。</p> <p>&lt;病機&gt; 胃中の痰飲による胃気上逆である。 痰飲が胃気を阻滞し、胃気が和降せず上逆するため、悪心、嘔吐が反復し食欲がない、舌苔が白は、化熱していないことをあらわす。</p> <p>&lt;方意&gt; 痰飲を除き、胃気を和降させる。 辛温の半夏は降逆止嘔・化痰滌飲に働く。辛温の生姜は、化痰降逆、止嘔の効能により半夏を助け、さらに半夏の毒性を消除する。二味で降逆止嘔・化痰滌飲の良好な効能が得られる。 ただし、両薬ともに辛温であるから偏寒の状態に適し、化熱した場合には適さない。</p> <p>&lt;参考&gt; 嘔吐すると津液が消耗するので口渇があり、口渇があるのは嘔吐によって水飲が除去され治癒傾向にあると言える。ただし、嘔吐するのに口渇が無いのは、心下（胃）に支飲があるためであり、小半夏湯で飲を除くのがよい。すなわち、痰飲嘔吐に相当する。 小半夏湯は和胃降逆の効能によって胃気を和降させるので、胃気虚の食欲不振、食べられない、少食、食べるとすぐに腹が張る、悪心、乾嘔、舌質が淡、舌苔が少、脈が無力などの症候にも有効である。但し、甚だしく胃気が虚している場合には人参・党参・炙甘草などを配合する必要がある。</p>	
しょうはんげかぶくりょうとう 小半夏加茯苓湯		半夏 9g・生姜 6g・茯苓 9g (小半夏湯 + 茯苓 9g) に相当する。 水煎し服用する。
金匱要略	<p>膈間に水気（飲）があると、上逆して突然嘔吐したり、心下（胃）に停滞して痞えたり、清陽が阻まれて上昇しないためにめまい（眩）がしたり、水気が凌心して動悸が生じる。飲が心下（胃）に停滞していると、津液が化生できないので口渇が生じ、水飲が下がらないで上逆するために嘔気がある。</p> <p>いずれの場合も、水飲があつて胃気が上逆するので、小半夏湯で和胃降逆、化痰滌飲し、茯苓を加えて水飲の除去を強める。</p> <p>日本での保険適応効能、効果 体力中程度の次の諸症；妊娠嘔吐（つわり）、そのほかの諸病の嘔吐（急性胃腸炎、湿性胸膜炎、水腫性脚気、蓄膿症）</p>	
しょうきょうはんげとう 生姜半夏湯		半夏 9g・生姜汁 15ml 水煎し服用する。
	寒飲が胸中にあつて陽気を閉鬱している状態で、小半夏湯の生姜を、散結滌飲の力が強い生姜汁に換えて、陽気を通達し滌飲する。	
きつびとう 橘皮湯		橘皮 12g・生姜 9g 水煎し服用する。
	胃寒による乾嘔、吃逆と、胃腸閉鬱による手足の冷えに対し、橘皮で開鬱行気し、生姜で通陽散寒、止嘔する。	
はんげかんきょうとう 半夏乾姜湯		半夏・乾姜各 6g 水煎し服用する。
	胃中虚寒によるよだれ（涎沫）と胃気上逆に対し、半夏で降逆止嘔し、乾姜で温胃散寒する。	
かんきょうにんじんはんげがん 乾姜人参半夏丸		乾姜・人参各 3g・半夏 6g・生姜 3g 水煎し服用する。
金匱要略	胃虚寒による胃気上逆に用いる。故に、胃虚寒による胃気上逆の妊娠嘔吐にも応用する。温胃の乾姜と、益胃補気の人参に、和胃降逆の小半夏湯を加え、温中補虚、降逆止嘔する。	